

# 映画シンポジウム：アジアを知る 『ナディアの誓い』

# On Her Shoulders

美容院を開くことを夢見ながら、イラク北部の小村で暮らしていたナディアの人生は、2014年の夏、武装組織ISISの襲撃によって大きく狂いはじめた。ヤズィディ教徒であるという理由で、村の男たちは虐殺され、女性と子供は連行された。他の多くの女性たちと同様に、ナディアも、母や兄たちを失い、自身はISIS戦闘員の奴隷として売買され、交換された。憤ましいながらも満ち足りたかつての暮らしぶりと、すべてを突然失い、残忍な暴行に耐えるしかなかった日々、そこからの脱出までの彼女の経験は、手記『THE LAST GIRL』（東洋館出版社、2018年）にも綴られている。

本作は、ISISの捕縛を逃れ、ドイツに移住した後のナディアの日々を描いたドキュメンタリー映画である。彼女は世界に向けて、自身の被害経験を語り、同胞や同じ被害に苦しむ人々への救援を求めた。そうした活動の中でわかったのは、過去に受けた暴力について語ることは、いくつもの新たな暴力を呼び寄せるということであった。記憶の再現による痛みや苦しみ、セカンドレイプ、被害証言の消費、「あなたが発信しなければ誰が発信するのか」という重圧。彼女の肩にはあまりに多くのものがのしかかっている。

必死な思いで発信されたその声に、私たちはどう向き合い、いかに応答することができるのか。  
本シンポジウムではこの問いを考えてみたい。

## 【上映作品】

### 「ナディアの誓い - On Her Shoulders」

監督：アレクサンドリア・ボンバッハ

95分／ドキュメンタリー／2018年／アメリカ

（配給：ユナイテッドピープル）

## 【プログラム】

14:00 開会

趣旨説明（後藤絵美・東京大学）

映画紹介（濱中麻梨菜・東京大学大学院）

14:15 上映『ナディアの誓い On Her Shoulders』

（監督：アレクサンドリア・ボンバッハ、95分、日本語字幕付き）

15:50 休憩

16:00 パネルディスカッション

語られる「ナディア」（鳥山純子・立命館大学）

『ナディアの誓い』をどう観るか（岡真理・京都大学）

「ナディア」を観る私たち—現象学からのアプローチ（小手川正二郎・國學院大学）

17:00 閉会

# 2.20 Sat 14:00-17:00

■参加費無料

※日本国内居住のどなたでもお申し込みいただけます。

## Zoomを利用したオンライン開催

ご参加希望の方は登録フォーム（<https://forms.gle/yqbQtdQbGKbtR2hK6>）またはポスター内のQRコードより前日までにお申し込みください。

※ZoomのURLを当日正午までにe-mailアドレスにお送りします。

<主催>

・科研費新学術研究 グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文社会科学の確立 B01班規範とアイデンティティ（代表：酒井啓子）

・科研費基盤研究(A)トランスナショナル時代の人間と「祖国」の関係性をめぐる人文学的・領域横断的研究（代表：岡真理）

・科研費基盤研究(A) イスラム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究（代表：長沢菜治）

・東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET)

<共催>

・東京大学 東洋文化研究所

・中東映画研究会

<お問い合わせ先> 東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET)事務局 [asnet@asnet.u-tokyo.ac.jp](mailto:asnet@asnet.u-tokyo.ac.jp)

